

質 疑 一 般 質 問

高規格救急車の概要について



かわぐち たけし
川口 健 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会
(委員長)

その他の質問項目

■ 熱海ぐるっとオーナーパス
※ NFT 事業

6月定例会質疑・
一般質問の模様は
こちらから



【質問】 令和7年の熱海市の救急出動件数は3,798件で全国平均の約1.8倍と非常に高い割合である一方、119番通報から病院収容までの平均所要時間は全国平均よりも約7分短く迅速な救急搬送を実現。現在、高規格救急車3台と非常用の高規格救急車1台の合計4台を配備し、効率よく運用している。この度篤志家から寄贈される高規格救急車の概要は。

【答弁】 当消防本部で初導入となる電動ストレッチャーが装備され、これについては振動が少なく安定した昇降で、傷病者の不安を和らげるとともに、隊員の身体的負担を減らすことができる。また適切な高さに調節できるため、確実な胸骨圧迫や薬剤投与などの救命処置が行える。

【質問】 新たに追加する高度救命処置用資機材とその特徴は。

【答弁】 まず、最新の自動体外式除細動器は画面が大きくなり操作性が向上。従来よりも短時間で心電図を解析し、素早い電気ショックが可能となる。また、自動心臓マッサージシステムは小型化により、狭い場所や移動中など人力では中断せざるを得ない場面でも絶え間なく正確な胸骨圧迫を継続でき、救命率の向上が期待される。この他、気道を安全に確保するためのビデオ喉頭鏡や、救急救命士が使用する薬剤などが含まれる。

高齢者外出支援について 市内小・中学校の統合について



たけべ たかし
竹部 隆 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(委員長)
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■ 庁舎の再編計画 ■ 市道西山林ヶ久保線の崖崩れ防止対策

6月定例会質疑・
一般質問の模様は
こちらから



【質問】 高齢者の外出支援について、ポイントカードを使つての外出支援という新しい方法が提案されたが、どのような方法で行われるのか。

【答弁】 70歳以上の高齢者の介護予防、フレイル予防及び外出機会の創出を目的としたもので、「いきいきポイント事業」は地域活動等への参加によりポイントが獲得でき、外出を喚起する。「いきいき外出支援事業」についてはオリジナル乗車証を提示することで、毎月6・16・26日に市内路線バスを乗り放題とし、外出を促進する。ポイント獲得方法などは連合町内会等を通じて周知に努め、本年10月の開始まで十分な広報に努める。

【質問】 学校の統合に向けての協議内容及びスクールバスについて説明を求める。

【答弁】 それぞれの地域での説明会を重ね、結果、総合教育会議にて、令和9年度に伊豆山小学校を桃山小学校に、令和10年度に泉小中学校を桃山小学校と熱海中学校に統合することを決定した。通学に必要なスクールバスについて、令和9年度からは伊豆山小学校から2ルートで桃山小学校まで運行する。バスの利用料金は徴収しない全額公費とした。令和10年度に統合となる泉小中学校の児童・生徒も本スクールバスで桃山小学校、熱海中学校に通学してもらうことを考えている。

※ _____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。